

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成26年10月3日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況や新規規制基準の対応状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成26年9月2日～平成26年10月3日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

①サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管からの漏えいについて

第33回定期検査中の敦賀発電所1号機において、平成26年9月17日、サイトバンカ建屋（管理区域）に設置されたサイトバンカ床ドレンサンプポンプを起動したところ、ポンプ出口配管より僅かに水が漏えいしていることを確認しました。

このため、当該ポンプを直ちに停止し、当該配管内の残水については、養生を行い回収しました。

漏えい箇所の調査（目視）を行ったところ、出口配管の下部に貫通孔（約7mm×約7mm）を確認しました。現在、当該配管を取り外し、原因調査を行っています。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

また、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

（別紙1参照）

②高電導度ドレン系配管からの漏えいについて

第33回定期検査中の敦賀発電所1号機において、平成26年9月22日、廃棄物処理建屋地下1階（管理区域）の床面に水溜り（約90cc）があること、床面から高さ約5mにある高電導度ドレン系配管より水が滴下していることを確認しました。

このため、当該配管内の水抜きを行い、滴下は停止しました。

当該配管の調査（目視）を行なったところ、溶接部に漏えいの跡があることを確認しました。

現在、原因調査を行っています。また、当該配管の他の溶接部についても調査を行っており、同様な漏えい跡を確認しました。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

また、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

（別紙2参照）

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（平成26年10月3日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

（1）敦賀発電所敷地内破砕帯の調査状況等について

①第4回追加調査評価会合に関する当社コメントの発表等について

平成26年9月4日に開催された「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 第4回追加調査評価会合」を踏まえて、以下の当社コメントを発表するとともに会合状況についてお知らせしました。

【当社コメント】

本日の会合では、当社は、有識者会合から示された諸論点について、十分な科学的データと証拠により反論、反証することができる説明資料を提出いたしました。当社としては、その資料に基づき説明を行おうとしましたが、それに対して、本日唐突に6月16日以降のデータを含めずに議論を行うという、議事進行がなされました。最新のデータ等をあえて考慮しないで審議するということは科学的議論として適切ではないと考えます。しかも、事前の事務局との打ち合わせにおいては、6月16日以降のデータを入れて説明して良いとの了解を頂き、最新データ等を盛り込んだものであり、理解に苦しむものであります。

また、本日の議論においては、有識者側から出された当社の見解に対する指摘や、有識者から示された見解について、科学的根拠や具体的理由等が示されておりませんでした。議事進行上の問題から議論が中断されたものもありました。

当社としては、このような状況では、次回の評価会合で「評価書案」が議論されるのは尚早と考えております。

したがいまして、次回以降の会合において、本日の会合で議論がかみ合わなかった点や、ご理解いただくことができなかった点などについて最新のデータ等を含め、十分に説明させて頂き、議論を尽くさせていただきたいと考えております。

(平成26年9月4日発表済み)

②最新データ等の使用に係る「事実関係」について

平成26年9月4日に開催された「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 第4回追加調査評価会合」での当社説明資料の扱いについては、8月29日に原子力規制庁と事前打ち合わせを行った際に、6月16日作成の資料以降のデータ等を入れた資料で説明して良いとのご了解を頂いていることを、事実関係として、当社が作成した打ち合わせメモにてお知らせしました。

(平成26年9月5日発表済み)

③原子力規制庁に対する申し入れについて

平成26年9月4日に開催された「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 第4回追加調査評価会合」において、事前の事務局の了解に反し、突然、当社が6月16日までに提出した資料のみで議論を行い、それ以降のデータ等は考慮しないとの議事進行が行われました。

これを受け、当社は、9月9日、原子力規制庁に対して、評価会合をやり直し、最新のデータ等も含めて十分な科学的議論を行っていただくよう、文書で申し入れを行いました。

(平成26年9月9日発表済み)

④更田委員長代理の発言に関する当社コメントの発表について

平成26年9月24日の原子力規制委員会の定例会見において、更田委員長代理から「事業者の方の対応も大きく進捗に係わってくると思います。ある結論が出ようとすると、また追加の結果ということになって、またそこで取りまとめになろうとすると、追加の調査結果ということになる。ずっと続く形になる訳ですけども・・・」との発言がありました。この発言を踏まえて、以下の当社コメント及びデータ拡充の経緯についてホームページにてお知らせしました。

【当社コメント（概要）】

当社は、昨年7月に当初の予定どおり原子力規制委員会に「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する報告書」を提出しました。当社は本報告書により、当該破砕帯が活断層ではないことを科学的に十分証明できていると確信しております。

その後、本年1月の現地調査や4月以降の追加調査評価会合において、有識者から様々な疑問や質問等が出て、その回答を求められたことから、補完的な分析等を行うなど、データ等を更に拡充して、随時提示してきたものであり、評価、判断する上で極めて重要なものであると考えております。今後の審議にあたって、最新のデータ等も含めて十分な科学的議論を行っていただきたいと考えております。

(平成26年9月24日、25日発表済み)

5. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー催物のご案内について

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

①第5回 写団・フォト南 例会展

南公民館自主学习教室で活動されている写団・フォト南（代表：松永 節夫 様）の12名の皆様による写真展です。夜の講習と昼の撮影を繰り返し、過去1年間に撮り貯めた作品を36点展示しています。（9月30日～10月5日）

②サンドブラスト（ガラス彫刻）工芸展

原野 美枝 様によるサンドブラスト（ガラス彫刻）の個展です。グラス、お皿、花器、ペンダント等の小物や美術展に出品した入賞、入選作品等を50点展示予定です。（10月7日～10月19日）

③ミハラケユリアの絵画展 CELEBRATIONS！

ミハラケ ユリア 様の故郷であるルーマニアの伝統的なモチーフを、日本独特の鮮やかな色彩と細部へのこだわりを用いてお祝い気分の色を表現した作品を、35点展示予定です。（10月21日～10月26日）

④第3回 ふたり展

当ギャラリーでは初の、濱詰 岳峯 様の書、奏頂 様の生花のご夫婦の作品展です。花と書が互いに引き立てあうような作品20点を展示予定です。（10月29日～11月2日）

(2) げんでんふれあいギャラリー開館時間の変更について

平成26年10月1日から平成27年3月31日まで、げんでんふれあいギャラリーの開館時間が10時～17時に変更（4月1日～9月30日：10時～17時40分）となりますので、お知らせ致します。

敦賀発電所 1 号機 サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管からの漏えいについて

敦賀発電所 1 号機は、第 3 3 回定期検査中の平成 2 6 年 9 月 1 7 日、サイトバンカ建屋※（管理区域）において、サイトバンカ床ドレンサンプポンプ A 号機を点検のため起動したところ、当該ポンプの出口配管より僅かに水が漏えいしていることを当社社員が確認しました。

このため、当該ポンプを直ちに停止し、配管内の残水については、養生を行い回収（約 3L）しました。

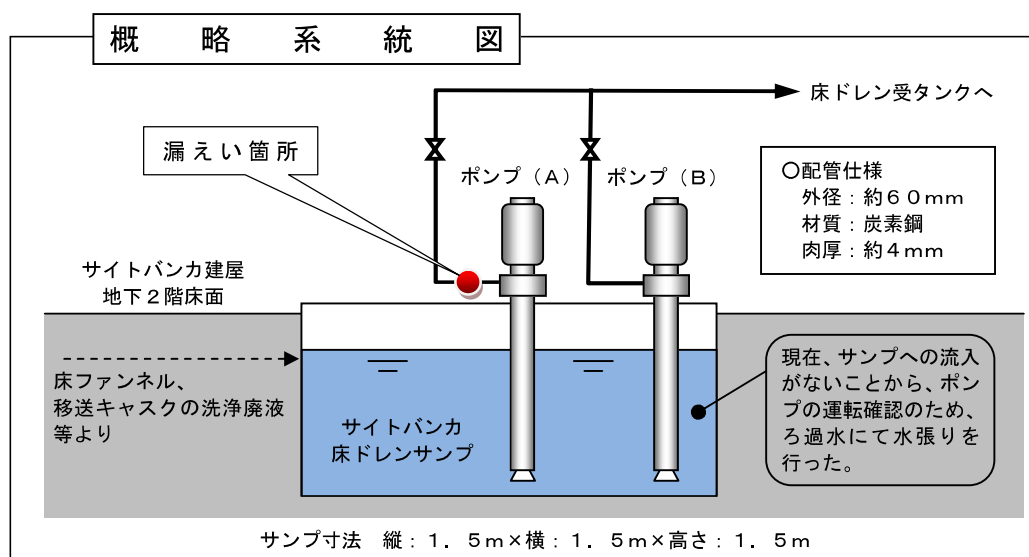
その後、漏えい箇所の調査（目視）を行ったところ、出口配管の下部に貫通孔（約 7mm×約 7mm）を確認しました。

現在、当該配管を取り外し、原因調査を行っています。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

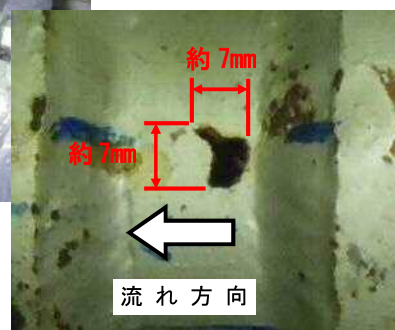
※ 制御棒等の高線量固体廃棄物をプール内に保管している建屋



【床ドレンサンプポンプ出口配管漏えい箇所】



【拡大写真】



【床ドレンサンプポンプ出口配管を下から撮影】

敦賀発電所 1 号機 高電導度ドレン系配管からの漏えいについて

敦賀発電所 1 号機は、第 3 3 回定期検査中の平成 2 6 年 9 月 2 2 日、運転員の巡視点検において、廃棄物処理建屋地下 1 階（管理区域）の床面に水溜り（長さ：約 150cm×幅：約 6cm×深さ：約 0.1cm：約 90cc）があること、床面から高さ約 5 mにある高電導度ドレン系※配管より水が滴下していることを確認しました。

このため、当該配管内の水抜きを行い、滴下は停止しました。

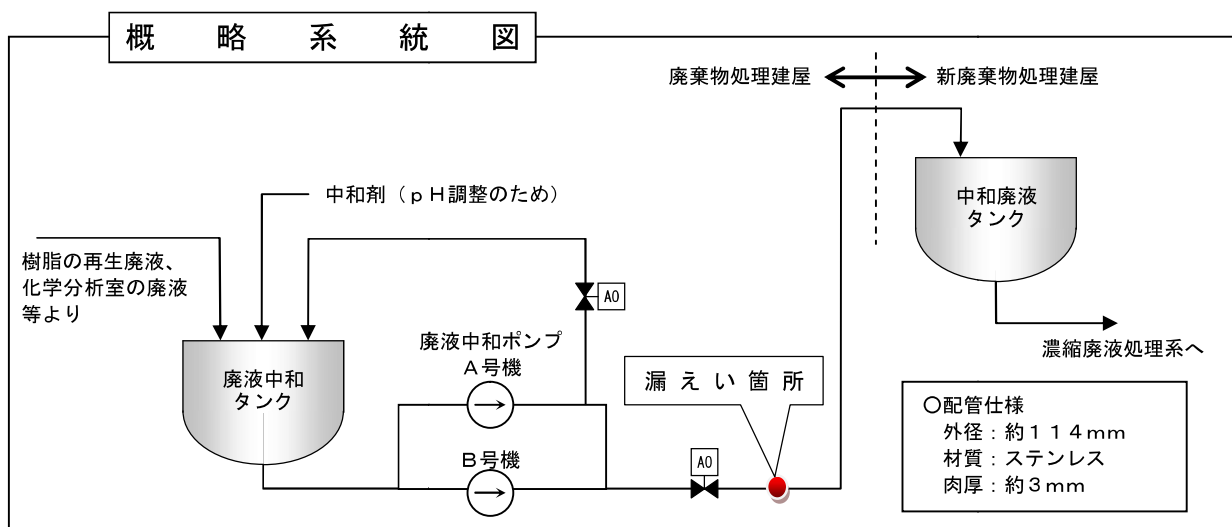
その後、当該配管の調査（目視）を行ったところ、溶接部に漏えいの跡があることを確認しました。

現在、原因調査を行っています。また、当該配管の他の溶接部についても調査を行っており、同様な漏えい跡を確認しました。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

※ 主に廃液脱塩器の樹脂を再生処理した際の廃液、化学分析室からの廃液を処理する系統。



【高電導度ドレン系配管漏えい箇所】



【高電導度ドレン系配管拡大写真】